

大きな経験「百聞は一見に如かず」

防災教育だより

2024年7月
発行

富谷市立
富ヶ丘小学校
(研究部：今野)

5年生は門脇小学校

震災遺構となっている門脇小学校を見学し、元校長先生の語り部さんの話を聞きましました。子供たちは、先生の話をしっかり聞いているか、すぐにサツと整列ができるか、自分のことだけではなく、周りの人のことを考えて生活しているか、というようなことが避難の時に現れるという話に、避難訓練だけでなく、日々の生活が大切であることを肝に銘じてきました。



震災遺構の教室を見学し、心に刻んだ

6年生は女川町見学へ

6年生は女川町の様子を見学に行きました。東日本大震災時の映像を見たり、話を聞いたり、復興した街並みを見学してきました。

(児童の感想より抜粋)

- ・家がそのまま流される映像は衝撃的だった。自分の家や家族が流されたらと思うと心が苦しくなった。
- ・クラスの友達が何人も亡くなるなんて信じられないと話を聞いて思った。
- ・あの震災の映像からは想像できないような美しい女川町の景観にびっくりした。海や産業も大切にしていることが分かった。



倒れた交番（震災遺構）



大震災時の映像

6 / 25 避難訓練（火災想定）

どうする！
階段が使えない

今回の避難訓練は火事が起きた想定で行われました。

「理科室で火事が起きています。」という放送があり、子供たちは、先生方の誘導で避難をしました。3年生は、いつも使っている階段は理科室の横を通るので、別な経路で避難をすることになりました。このような瞬時の判断が訓練の一つとなっています。



水消火器での訓練の様子

今後の防災関連の予定

今後は、防災に関する研究授業も予定されています。今月は5年生で授業があります。8月は1年生と3年生で授業を予定しています。

夏休みは水の事故が心配

御家庭でも夏休みの生活について約束などの確認をお願いいたします。